



西国三十三所草創1300年記念事業

4月15日「日本巡礼文化の日」記念行事のお知らせ

- とくべつさんげ
- ①「特別散華」を33寺院で合計33,000枚授与
 - ②2020年12月18日までの1年8カ月間、
けちえんつな
観音さまとご縁を結ぶ「結縁綱」設置

日本最古の巡礼道「西国三十三所」は、2018年（平成30年）に草創1300年を迎えたことを機に、4月15日（良いご縁）を、「日本巡礼文化の日」記念日に制定しました。

つきましては、4月15日「日本巡礼文化の日」の記念行事を開催します。

- ①「特別散華」を33寺院で合計33,000枚授与します。

「特別散華」には、西国三十三所札所会 会長 石山寺 鷲尾遍隆座主 直筆の「観音力」が揮毫されております。納経いただいた方を対象に、最長で4月30日（火）まで各寺院で先着1,000名に授与され、無くなり次第、授与終了となります。

- ②新時代への希望を願い、観音様とご縁を結ぶ「結縁綱」を全寺院に設置

します。期間は、2020年12月18日までの1年8カ月間。「結縁綱」は、各寺院のご本尊の手に綱を巻き、拝観者がその綱を自身の手でにぎることで、観音様とご縁を結ぶことができるものです。



「特別散華」イメージ画像 （左）表面 （右）裏面



西国三十三所創1300年
1300 years since the inception
of the pilgrimage to Saikoku
Senjusansho

開催概要

とくべつさんげ

<「特別散華」合計33,000枚を授与>

- ◆授与日程 2019年（平成31年）4月15日（月）より各寺院の納経時間中
- ◆授与寺院 西国三十三所の全33寺院（第一番札所～第三十三番札所。詳細は次ページ）
- ◆内 容 「日本巡礼文化の日」の年中行事として、西国三十三所札所会 会長 石山寺 鷲尾遍隆座主直筆の「観音力」が揮毫された「特別散華」を、33寺院で合計33,000枚授与します。当日は各寺院へお越してください。納経いただいた方を対象に、最長で4月30日（火）まで各寺院で先着1,000名に授与されます。無くなり次第、授与終了となります。

けちえんつな

<新時代に向けて観音様と御縁を結ぶ「結縁綱」を、全札所に設置>

- ◆日 程 2019年（平成31年）4月15日（月）～2020年（新元号2年）12月18日（金）
西国三十三所草創1300年記念事業結願日まで
 - ◆場 所 西国三十三所の全33寺院（第一番札所～第三十三番札所。詳細は次ページ）
 - ◆内 容 観音様とご縁を結ぶことができる「結縁綱」。「結縁綱」は、各寺院のご本尊の手に綱を巻き、拝観者がその綱を自身の手でにぎることで、観音様とご縁を結ぶことができるものです。
- ◆一般お問い合わせ先 西国三十三所札所会 事務局 TEL：077-548-8621
※事務所の移転に伴い、4月1日より電話番号が075-744-6233に変更となります。

<「日本巡礼文化の日」について>



記念日の由来

「良いご縁」をつなぐ日本の巡礼文化

日本最古の巡礼道「西国三十三所」の草創1300年を記念して、「良いご縁（415）を結ぶ」の語呂合わせから4月15日を「日本巡礼文化の日」として、一般社団法人日本記念日協会に登録申請し、記念日として認定いただきました。

◆巡礼文化を次代へ継承するために

「西国三十三所」の全33寺院が、一斉に特別な散華を配布する風流な風物詩を行い、日本の巡礼文化への関心を高めるとともに、全国の巡礼路にも連携を呼び掛けてまいります。

《本件に関するお問い合わせは、下記までお願いします》

西国三十三所草創1300年 P R 事務局（株式会社 T M オフィス内） 馬場・石原

TEL：06-6231-4426 FAX：06-6231-4440 Email：saikoku33PR@tm-office.co.jp

※4月1日からは、電話番号075-744-6233までお問い合わせください。

URL：公式サイト <http://www.saikoku33.gr.jp/>（「西国三十三所」で検索）

草創1300年特設サイト <http://www.saikoku33-1300years.jp/>（公式サイトからリンク）



西国三十三所草創1300年
1300 years since the inception
of the pilgrimage to Saikoku
Sanjusansho

◆西国三十三所とは

718年（養老2年）、観音菩薩が人々を救うために示したと伝わる観音霊場のルーツです。その後、「観音菩薩は33の姿に身を変えて人々を救う」という教えのもと「西国三十三所」と総称され、各寺院は「札所」となって順番に参拝する巡礼文化を生みしました。

その総距離は約1,000キロメートルに及び、和歌山県、大阪府、奈良県、京都府、滋賀県、兵庫県、岐阜県の2府5県を包括するように伸びています。その三分の一が中世日本の首都・京都に集中していることを背景に、「西国三十三所」が生んだ観音信仰と巡礼文化は全国に広がりました。

現在、観音菩薩の美しさは海外の注目も集め、多くの外国人が訪れる巡礼道になっており、「西国三十三所」は1300年という節目とともに新しい時代の扉を開きます。

「西国三十三所草創1300年記念事業」ロゴマーク
観音様が三十三所巡礼道をまとうイメージを表現しています。



日本最古の巡礼所33寺院「西国三十三所」(都道府県別／数字は札所番号)			
和歌山県	1番 青岸渡寺	2番 金剛宝寺(紀三井寺)	3番 粉河寺
大阪府	4番 施福寺	5番 葛井寺	22番 総持寺
	23番 勝尾寺		
奈良県	6番 南法華寺(壺阪寺)	7番 岡寺	8番 長谷寺
	9番 興福寺 南円堂		
京都府	10番 三室戸寺	11番 上醍醐 准胝堂(醍醐寺)	15番 今熊野観音寺
	16番 清水寺	17番 六波羅蜜寺	18番 六角堂 頂法寺
	19番 草堂 行願寺	20番 善峯寺	21番 穴太寺
	28番 成相寺	29番 松尾寺	
滋賀県	12番 正法寺(岩間寺)	13番 石山寺	14番 三井寺
	30番 竹生島 宝厳寺	31番 長命寺	32番 観音正寺
兵庫県	24番 中山寺	25番 播州清水寺	26番 一乗寺
	27番 圓教寺		
岐阜県	33番 華厳寺		